

# 『石上げの行』

1. 「石上げの行」とは「生長の家」で行う独自のイマ-フレーションです。

※紙面の関係で、手順等は概略となっております。実際に行う際は谷口雅宣先生監修『誰でもできる「石上げの行」』をご一読ください。

## 2. 目的

石上げの行の目的は、自ら対象/課題との関係を通してそれとの「ムスビ」を実現することである

※ムスビの原理

- ① 行為者と対象/課題とは本来、共通の基礎を持つ
- ② 両者は互いに寄り合う
- ③ 両者とは異なる新価値が生まれる



## 3. 手順

### ① 石を彫る

#### 1) 道具

(工具)



チスクガネ

約 10mm



平タガネ

10~13mm



カナヅチ

(保護具)



手袋



ゴーグル

#### 2) 三角形の三点を彫る

チスクガネを傾けて少しずつ石を欠くように彫って下さい。

#### 3) 三角形の辺を彫る

三点を結ぶように線を描いて行きます。この際平タガネを使用して少しずつ彫って行きます。

穴を彫る時に心に思うこと

① 第一の穴は「これは自分だ」と思って彫ります

② 第二の穴は、自分が個人的に一番関心のあること、課題、夢や希望、悩んでいることなど、を思い起して掘ります

③ 第三の穴は、①「自分」と②「希望」や「課題」が結びれて、調和した「新しい価値」が実現することを強く願って、穴を彫ります

※注意

タガネで石を彫る時は大きな音が出ます。マンション等の集合住宅に住んでいる場合など、この音が近所迷惑になることがあります。屋外等の迷惑の少ない場所を選んでください。

② 石を上げる

石は徒歩または自転車で、より標高の高い位置へ運びます。

③ 石を納める

石を上げた後は、その石にふさわしい場所に納めます。

(石を納める場所のポイント)

① ムスビ岩

割れて離れている岩を「ムスビ岩」と呼びます。これは「ムスビ岩」が「ムスビ」の働きを3つの成立条件を具体的に示しているからです。

② "造化の三神"を祀る祠を設置する場所

③ 自宅の清浄な所

※ 個人で石を上げる場合、石を納める場所が近くになる場合があります。この場合自宅の清浄な場所にはしばらく保管し、行事があるときなど持参して奉納して下さい。

4. 石上げの拝礼 (個人の場合)

石上げを実施した日、日々の生活の中でもムスビの働きを意識することが大切です。

- ① 一拝
- ② 御扉を叩く
- ③ 献饌
- ④ 蓮華合掌祈念
- ⑤ 二拝二拍手一拝
- ⑥ 「自然と人間の調和を観する祈り」ならびに「大自然讃歌」読誦
- ⑦ 二拝二拍手一拝
- ⑧ 蓮華合掌解除
- ⑨ 撤饌
- ⑩ 御扉を叩く
- ⑪ 一拝

＝ 蓮華合掌祈念 ＝

- 集団で行う時は、先導者が三本の木の枝を三角形の形に置く。
- その間参加者は瞑目合掌し、合掌を蓮の蕾に見立てムスビの働きによって開花することを祈念する。
- 個人で石上げの祈願を行う時は、献饌した後に行う。
- 「蓮華合掌解除」では、結ばれた三角形の枝を一本ずつ手で元の位置に戻す。

